

分子科学研究所一般公開

3年に一度行っている分子科学研究所の一般公開「分子科学への招待」を10月21日(土)に実施しました。不思議なことに前回同様前日は大雨でしたが、当日は爽やかな天気恵まれ、午前9時半の所長の開会宣言とともに順調に開始されました。小、中、高、大学生、家族連れ、年輩の方々と多くの方が見学して下さいました。今回は、各研究グループや施設が用意した展示が29件あり、講演は今迄通り3件でした。受付では、見学者の皆さんに、機構の冊子、機構の宣伝パンフレット「OKAZAKI」、分子研の宣伝パンフレット、アンケート用紙、分子研の文字入りボールペンとプラスチック製ファイルの一式を展示及び講演の題目と地図を印刷したファイルに入れて配りました。これは中々好評だったようです。講演は魚住教授、岡本助教授、平等助教授による、「見えないけれど身近な分子」、「ポストゲノム時代の分子生命体科学」、「高性能マイクロチップレーザの展望」の題目で午前1件午後2件、それぞれ1時間に亘って熱心に行われました。展示、講演ともにテレビ取材もあり緊張の中で良い公開が出来たのではないのでしょうか。

展示会場が色々な建物にかなり広く点在している事を考え今回は少し工夫をこらしました。その第一は、展示をAからEまでのグループに分け、見学者の好みに応じて好きな所からスタート出来る様にしました。今迄は、回るコースを決めていたので、混雑が時間とともに移動するという状況になっていたのですがこれをある程度解消することが出来ました。ただ、アンケートの記入と回収の場所は一ヶ所にしましたので、そこに戻ってもらえる様に工夫する必

要は生じました。それから、あちこちに出来るだけ多くの椅子を置き休憩を取れる様に工夫もしました。

分子研の一般公開も今回で9回目となりますが、若い研究者が自分達の平素の研究内容を一般の方々に理解してもらえる様に一所懸命に説明すると言うノウハウもちゃんと引き継がれていて大変良かったのではないかと思います。本物の科学に触れ、説明を聞いて聞いている姿を見ると、説明している人もやりがいを感じたろうと思います。アンケートでも一所懸命の説明に感謝する内容が相当ありました。これからは、基礎学術研究においても「説明責任」が一層問われる様になりますから、一般公開の定着とともに、平素研究者仲間では考えもしない様な質問にも答えらる様に訓練・努力を心掛けていく必要もあるでしょう。

最近の地震や色々な事件の多さを考え、細かい所にも気を配って準備をして頂いたお陰で事故もなく無事に終えることが出来たのは何よりであったと思います。管理局の方々、分子研の職員の方々の努力に改めてお礼を申し上げます。ただ一つ残念だったのは、見学者の数が1500名弱と例年より少し少なかったことです。これは、小中学校の登校日および高等学校の試験日に重なったこと等が響いたようです。次回からは、この点にも気を付けて開催日を決める必要があるでしょう。以下に展示項目と講演題目の一覧を掲げておきます。

一般公開実行委員長
中村宏樹



展示内容

A01: スーパーコンピュータで探る分子の世界

B01: 液体のミクロな構造と動きを探る

B02: ナノメートルの世界を創る・視る

B03: ドラムにきざまれた化学反応の歴史
- ドラムレコード型質量分析装置の開発

B04: イオンで計る分子の指紋

B05: 化学結合という「ばね」

B06: 金属酵素の働き

B07: 分子と磁石

B08: 電波で調べる分子集合体の不思議な世界

B09: 分子科学研究をささえるガラス工作

B10: 真空中で方向の揃った分子クラスターの発生
その構造と反応性の解明

B11: 原子を集めてミクロの「だんご」をつくる

B12: ゼロから始める光合成

B13: ミクロの時間の化学

C01: 物性のコンピュータ・シミュレーション

C02: 光でみる有機伝導体の性質

C03: 金属蛋白質の科学

C04: 多核金属錯体の集積化

C05: 化学物質のエネルギー変換

C06: 水中での化学反応

D01: 実験装置のいろいろ

D02: 電磁誘導でさぐる物質の磁性

D03: He 液化機のしくみ

E01: 世の中のために役に立つレーザー

E02: 宇宙の光を地上で使う - 放射光による分子科学 -

E03: 加速器からの光で見る物質内部の電子

E04: 放射光で拓くナノ科学の世界

E05: 金属に強く束縛された電子を光で取り出す装置

E06: 極端紫外光で外殻電子を見る



講演会

見えないけれど身近な「分子」

- 光学活性有機分子の開発を中心に -

魚住 泰広

ポストゲノム時代の分子生命体科学

- 計算機シミュレーションによる蛋白質分子の立体構造予測

岡本 祐幸

高性能マイクロチップレーザーの展望

平等 拓範